

参考資料（調査票）

福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査

事業所調査票

<調査協力のお願い>

福岡市では、「福岡市働く女性の活躍推進計画」を策定しており、基本目標のひとつに「働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します」を掲げ、様々な取組を進めているところです。

このたび、次期計画（第2次）の策定に向けて、実態を踏まえた実効性の高い施策となるよう、市内事業所における女性活躍推進に係る取組状況や従業員の就業実態を把握するとともに、皆さまのご意見を伺おうとさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査の実施概要につきましては、福岡市ホームページに掲載するとともに、調査結果の公表については、来年3月頃に調査結果概要の調査対象事業所への送付と同ホームページへの掲載を予定しております。



福岡市
ホームページ

令和元年11月

福岡市
(市民局女性活躍推進課)

調査票は、記入後、同封してあります返信用封筒（切手不要）に入れて、

11月30日(土)までに郵便ポストに投函してください。

【記入にあたってのお願い】

- この調査票のご記入は、経営者（代表者）または人事担当者（責任者）の方をお願いいたします。
- この調査は事業所を単位として行っておりますので、原則として貴事業所に限ったご回答をお願いします。
- 回答の記入は、各設問の指示に従って、あてはまる項目の番号に○印もしくは所定の記入欄に数字をご記入ください。質問文に「1つ」、「すべて」など指定がある場合は、その指定に従ってご回答ください。
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってご回答ください。
- 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）内に具体的に記入してください。
- 特に指定がない限り令和元年10月1日現在にご記入ください。
- 調査票はすべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありませんので、ありのままをご記入ください。

調査票の内容や記入方法などについてのお問い合わせ先

【調査委託会社】 株式会社サードパーティセンター 担当：藤高根

TEL 092-411-8816(平日:9時~17時) FAX 092-411-8851

貴事業所の概要についておたずねします。

各項目であてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

事業所区分	1. 単独事業所	2. 本社・本店	3. 支社・支店等
業種	1. 建設業	5. 卸売業、小売業	9. 医療、福祉
	2. 製造業	6. 不動産業、物品賃貸業	10. サービス業
	3. 情報通信業	7. 宿泊業、飲食サービス業	11. その他
	4. 運輸業、郵便業	8. 教育、学習支援業	()
貴社の常時雇用する労働者数	※本社(本店)、支社(支店)等、全体を含めた数でお答えください。		
	1. 30人以下	3. 51~100人	5. 301~500人
	2. 31~50人	4. 101~300人	6. 501人以上

(注)「常時雇用する労働者」とは、正社員だけでなくパート、契約社員などの名称にかかわらず、次の要件に該当する労働者も含みます。

- ①期間の定めなく雇用されている者
- ②一定の期間を定めて雇用されている者であって、過去1年以上の期間について引き続き雇用されている者又は雇入れの時から1年以上引き続き雇用されると見込まれる者

問1. 貴事業所の常時雇用する労働者の人数を、正社員および非正規雇用労働者別、男女別にご記入ください。該当者がいない欄は、「0」を記入してください。

	正社員数	非正規雇用労働者数
女性	人	人
男性	人	人

(注)「正社員」とは、期間を定めずに雇われている者をいいます(役員は含めないでください)。「非正規雇用労働者」とは、パートタイム労働者および有期雇用労働者をいいます。「パートタイム」「アルバイト」「嘱託」「契約社員」「準社員」等名称の如何を問いません(今回の調査では、派遣労働者は含みません)。

問2. 貴事業所の正社員および非正規雇用労働者の、男女別の大きな平均勤続年数はどのくらいですか。あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

	正社員	非正規雇用労働者
女性	1. 3年未満 2. 3~5年未満 3. 5~10年未満 4. 10~15年未満 5. 15年以上 6. 該当者なし	1. 1年未満 2. 1~3年未満 3. 3~5年未満 4. 5~10年未満 5. 10年以上 6. 該当者なし
男性	1. 3年未満 2. 3~5年未満 3. 5~10年未満 4. 10~15年未満 5. 15年以上 6. 該当者なし	1. 1年未満 2. 1~3年未満 3. 3~5年未満 4. 5~10年未満 5. 10年以上 6. 該当者なし

問3. 貴事業所の平成30年(または30年会計年度)1年間における、正社員の1か月の平均残業時間と年次有給休暇取得率はどのくらいですか。あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

1か月の平均残業時間	1. 残業なし 2. 10時間以下 3. 10時間超20時間以下 4. 20時間超45時間以下 5. 45時間超60時間以下 6. 60時間超
年次有給休暇取得率	1. 取得なし 2. 20%未満 3. 20%以上40%未満 4. 40%以上60%未満 5. 60%以上80%未満 6. 80%以上

(注)「年次有給休暇取得率」とは、取得日数計(1年間に実際に取得した日数)÷付与日数計(繰越日数は除く)×100(%)をいいます。

問4. 貴事業所の、以下の役職の人数は何人ですか。また、そのうち女性は何人ですか。下表に具体的な人数を記入してください。該当がない場合は「0」を記入してください。

役員	総数	うち女性
係長相当職	人	人
管理職		
課長相当職	人	人
部長相当職	人	人
計	A	B
	人	人

◎貴事業所の女性管理職の割合
(女性計/総数計×100)
※小数第2位を四捨五入
B/A %

(注) 1. 「管理職」とは、課長相当職以上が該当し、役員は含まれません。
2. どの区分にあてはまるかは、事業所の実態により例示を参照のうえ適宜判断してください。
・課長相当職 : 課長、課長代理、課長補佐、マネージャー など
・部長相当職 : 部長、部次長、支店長、ゼネラルマネージャー など
3. 「役員」は、常勤と非常勤をあわせて人数をご記入ください。

問4-1は、問4で「女性管理職の割合が10%未満」と回答した事業所がお答えください。

問4-1. 女性の管理職が少ない(あるいは全くいない)のはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 該当する資格(社内試験合格者を含む)を持った者が少ない(いない)
2. 該当する経験、資質、能力、適性を持った者が少ない(いない)
3. 該当する勤続年数や年齢に達した者が少ない(いない)
4. 管理職になりたがる女性が少ない(いない)
5. 家庭的責任との関係で仕事の継続がきかない
6. 出産、育児、介護等による一時休職が予想される
7. 結婚や出産を機に退職する女性が多い
8. 男性を管理職に登用するのが慣行である
9. 女性管理職のモデル例が少ない(いない)
10. その他()

非正規雇用労働者についておたずねします。

問5～問7は、令和元年10月1日現在、非正規雇用労働者を雇用している事業所(問1で、女性男性にかかわらず、非正規雇用労働者数を回答した事業所)のみお答えください。非正規雇用労働者を雇用していない事業所は、問8にお進みください。

問5. 非正規雇用労働者のうち、「職務」と「責任」の両方が正社員とほとんど同じ者はいいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 職務・責任が正社員とほとんど同じ非正規雇用労働者がいる → 問5-1へ
2. 職務・責任が正社員とほとんど同じ非正規雇用労働者がいない → 問6へ

問5-1は、問5で「1」と回答した事業所がお答えください。

問5-1. 職務・責任が正社員とほとんど同じ非正規雇用労働者が、非正規雇用労働者全体に占める割合はどの程度ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 1割未満
2. 1割以上3割未満
3. 3割以上5割未満
4. 5割以上

問6. ハートタイプ労働者・有期雇用労働者への不合理な待遇差をなくすための規定の整備が義務づけられますが、貴事業所の対応状況はいかがでしょうか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
(※施行期日：令和2年4月1日。中小企業の適用は令和3年4月1日)

1. 規定済、対応済
2. 施行期日までの整備に向けて準備中
3. 対応を検討中
4. 未検討
5. 義務づけられることを知らない

問7. 貴事業所における非正規雇用労働者の今後の活用方法としての方針・考えは次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 正社員の補助として使っていきたい
2. 単純作業等の労働力として使っていきたい
3. 正社員とともに基幹的労働力として使っていきたい
4. 正社員に代えて基幹的労働力として使っていきたい
5. 専門知識・技術が必要な場合の労働力として使っていきたい
6. 店長やリーダーなどの管理的職務を担わせていきたい
7. 非正規雇用労働者から派遣社員に切り替えていきたい
8. 非正規雇用労働者から正社員に切り替えていきたい
9. 特に方針・考えはない

ハラスメント対策についておたずねします。

問8. 貴事業所では、職場におけるハラスメント対策に取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）対策に取り組んでいる | → 選択した場合は 問8-1へ |
| 2. マタニティ・ハラスメント（マタハラ）対策に取り組んでいる | |
| 3. パワー・ハラスメント（パワハラ）対策に取り組んでいる | |
| 4. 取り組んでいない | |

(注)

- | | |
|------------------|---|
| 1. セクシュアル・ハラスメント | 「労働者」の意に反する「性的な言動」に対する労働者の対応によりその労働者が労働条件について不利益を受けたり、「性的な言動」により就業環境が害されること |
| 2. マタニティ・ハラスメント | 上司・同僚からの言動（妊娠・出産したこと、育児休業等の利用に関する言動）により、妊娠・出産した「女性労働者」や「育児休業者」の就業環境が害されること |
| 3. パワー・ハラスメント | 職務上の地位や人間関係などの職場内での優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与えられたり、職場環境を悪化させられる行為のこと |

問8-1は、問8で「1」と回答した事業所がお答えください。

問8-1. 貴事業所では職場におけるセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）の問題についてどのような取組をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. セクハラは許さないという方針を立て周知 |) |
| 2. 就業規則等で、セクハラ防止対策措置を規定 | |
| 3. 従業員に対してセクハラに関する研修等の実施 | |
| 4. 管理職に対してセクハラに関する研修等の実施 | |
| 5. セクハラ防止のための組織（人権擁護組織等）を設置 | |
| 6. セクハラに関する相談窓口を設置（外部委託を含む） | |
| 7. 労使による苦情処理委員会を設置 | |
| 8. アンケート等での実態把握 | |
| 9. その他（ | |

育児休業制度・介護休業制度についておたずねします。

問9. 貴事業所では、平成29年4月1日から平成30年3月31日の間に、出産した女性正社員および配偶者が出産した男性正社員は何人いましたか。また、そのうち令和元年10月1日までに育児休業を開始した人数（育児休業開始予定の申し出をしている者を含む）をご記入ください。該当者がいない場合は、「0」をご記入ください。

出産者数（平成29年4月1日～平成30年3月31日）	女性	男性
うち、令和元年10月1日までに育児休業を開始した人数	人	人
(注) 平成30年4月1日以降に出生した子に係る育児休業については、含めないようご注意ください。	うち	うち

問10. 貴事業所の女性正社員の結婚や出産後の就業継続状況はいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 正社員として働き続ける人がほとんどである（8割以上） |
| 2. 正社員として働き続ける人が多い（5～7割程度） |
| 3. 正社員として働き続ける人が少ない（3・4割程度） |
| 4. 正社員として働き続ける人はほとんどいない（1・2割程度） |

問11. 貴事業所では、女性正社員が結婚や出産をきっかけとして退職することについてどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を継続してほしい |
| 2. 一旦退職しても、育児が一段落したら、再雇用制度を利用して復職してほしい |
| 3. 結婚するまで働いてほしい |
| 4. 出産するまで働いてほしい |
| 5. わからない |

問12. 貴事業所では、男性が育児に参加することについてどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 積極的に参加したほうがよい |
| 2. 仕事に支障のない範囲で参加したほうがよい |
| 3. 必要に迫られたときのみ参加すればよい |
| 4. 参加する必要はない |

問 15. 貴事業所で平成 30 年（または 30 年会計年度）1 年間において介護休業を開始した女性正社員および男性正社員の復職状況について、次の区分により下表に人数をご記入ください。該当者がいない場合は、「0」をご記入ください。

		女 性	男 性
介護休業を開始した人数		人	人
うち、復職した人数		うち 人	うち 人
うち、復職予定であったが退職した人数		うち 人	うち 人

(注)・同一労働者が期間内に複数の対象家族について利用した場合、その対象家族の人数を計上してください。

問 16. 仕事と介護の両立支援を目的として取り組んでいることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 介護休業制度や介護休暇等に関する法定の制度を整える
2. 法定以外の制度等、介護との両立のための働き方の取組を充実
3. 介護に直面した従業員を対象に仕事と介護の両立に関する情報提供を行う
4. 介護に直面しているが関わらず、仕事と介護の両立に関する情報提供を行う
5. 従業員の仕事と介護の両立に関する実態・ニーズ把握を行う
6. 介護に関する相談窓口や相談担当者を設ける
7. 介護の課題がある従業員に経済的な支援を行う
8. 制度を利用しやすい職場づくりを行う
9. その他 ()
10. いずれにも取り組んでいない

問 13. 貴事業所では、男性の育児休業の取得を促進していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 促進している → 問 13-1へ 2. 促進していない → 問 14へ

問 13-1は、問 13で「1」と回答した事業所がお答えください。

問 13-1. 男性の育児休業の取得促進のためにどのような取組を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 個別に対象者本人への働きかけをする
2. 復職時の面談等サポート体制を充実する
3. 処遇面で不利益を受けることがないことを明確化し周知する
4. 企業独自の経済的支援を行う（雇用保険からの育児休業給付金は除く）
5. 取得しやすいよう法を上回る育児休業制度とする
6. 管理職向けに研修や周知を行う
7. 出産時の子育てに係る計画書の作成を義務付ける
8. 取得促進の部署や担当者を置く
9. 男性の取得事例の紹介をする
10. 育児休業に限らず男性向けに育児に関わる取組を推奨する
11. その他 ()

問 14. 貴事業所において、男性が育児休業を取得するにあたっての課題、又は課題になりそうなことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 職場がそのような雰囲気ではない
2. 代替要員の確保が困難である
3. キャリア形成において不利になる懸念がある
4. 上司の理解が進まない
5. 前例（モデル）がない
6. 男性自身に育児休業を取る意識がない
7. 休業中の賃金補償が不十分
8. 社会全体の認識の欠如
9. その他 ()
10. 特になし

ワーク・ライフ・バランスについてお答えねします。

問 17. 「ワーク・ライフ・バランス」の意味を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 知っている
- 2. 意味までは知らないが、見聞きしたことはある
- 3. 知らない

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と家庭生活、地域生活、自己啓発など様々な活動について、自ら希望するバランスで生活できることをいいます。

問 18. ワーク・ライフ・バランスを推進するための取組について貴事業所はどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 取り組む必要がある } 問 18-1 へ
- 2. どちらかといえは取り組む必要がある
- 3. どちらかといえは取り組む必要はない } 問 19 へ
- 4. 取り組む必要はない
- 5. わからない

問 18-1 は、問 18 で「1」または「2」と回答した事業所がお答えください。
問 18-1. 取り組む必要があるとした理由は何か。主な理由としてあてはまるものを2つまで選び○をつけてください。

- 1. 多様な有能な人材の獲得や定着が可能となる
- 2. 従業員の満足度、仕事への意欲が高まることなどにより、生産性が向上する
- 3. 仕事の進め方が合理的に見直されて効率が高まる
- 4. 多様な人材の能力を活かすことで、様々なニーズや環境の変化への対応が可能となる
- 5. 仕事以外の活動に関わることで得た視点の広がりや創造性が、企業にフィードバックされる
- 6. その他 ()

問 19. 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスを推進するために、次のような制度を設けていますか。あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。
また、「制度あり」と回答した事業所は、その制度のこれまでの利用者の有無（男女別）についてもお答えください。

※制度ありとは：就業規則等、文書で規定されていることや、慣行としてあることをいいます。

	制度の有無			【制度ありの場合】 利用者の有無			
	制度なし （後にも導入の予定なし）	制度の導入を検討中	制度あり	性別			
				女性	男性		
ア. 育児・介護のための短時間勤務制度（注）	1	2	3	1	2	1	2
イ. 自己研鑽のための短時間勤務制度（注）	1	2	3	1	2	1	2
ウ. 自己研鑽のための休暇制度や講習料助成制度	1	2	3	1	2	1	2
エ. フレックスタイム制度（注）	1	2	3	1	2	1	2
オ. 在宅勤務（テレワーク）制度	1	2	3	1	2	1	2
カ. 短時間正社員制度（注）	1	2	3	1	2	1	2
キ. 地域限定正社員制度	1	2	3	1	2	1	2
ク. 非正規雇用労働者のうち、希望するものを正社員に 登用する制度	1	2	3	1	2	1	2
ケ. 正社員と非正規雇用労働者との相互転換制度	1	2	3	1	2	1	2
コ. 再雇用制度 （対象が定年退職者に限られる場合は除く）（注）	1	2	3	1	2	1	2
サ. メンタルヘルズに係る相談窓口の設置など（注）	1	2	3	1	2	1	2
シ. その他 ()	1	2	3	1	2	1	2

(注)	ア. イ. 短時間勤務制度	エ. フレックスタイム制度	カ. 短時間正社員制度	コ. 再雇用制度	サ. メンタルヘルズケア
通常の所定労働時間より短い所定労働時間を設定すること（原則6時間）。労働基準法に基づく「首原時間」は含まない。					
1カ月以内の一定の期間の総労働時間を定めておき、労働者がその範囲内で各日の始業および終業の時刻を自由に選択して働くこと。					
フルタイム（1日の所定労働時間が8時間程度）で週5日勤務を基本とする）の正社員と比べて、1日の所定労働時間又は1週間の所定労働日数が短い正社員のこと。					
ここでは、妊娠、出産、育児、介護等の理由により退職した男女従業員を、同一企業に再び雇用する制度のこと。					
事業所において事業者が講ずるよう務めるべき労働者の心の健康の保持増進のための措置のこと。					

問 20. 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスを推進するために、問 19 での制度の導入のほか、どのような取組みを行っていますか。あてはまるものを すべて に○をつけてください。

1. 年次有給休暇取得の促進	→選択した場合は 問20-1 へ
2. 残業時間（所定外労働時間）の削減	→選択した場合は 問20-2 へ
3. 経営者や管理職の意識改革	} 問21 へ
4. 職場風土の改革	
5. 仕事や人の合理的な配分が可能柔軟な組織づくり	
6. 複数の仕事をこなさせる人材の育成	
7. 従業員の働き方に関するニーズの把握	
8. 仕事の進め方や内容の見直し	
9. ICT（情報通信技術）やRPA（注）、AI（人工知能）を 活用した業務の効率化	
10. 業務マニュアルの整備	
11. 労働時間の長さではなく、仕事の成果の適正評価	
12. ワーク・ライフ・バランス支援に関する情報の提供	
13. その他（	
14. 特になし	

（注）RPA：定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの

問 20-1は、問 20 で「1」と回答した事業所がお答えください。

問 20-1. 年次有給休暇取得の促進のために具体的にどのような取組を行っていますか。あてはまるものを すべて に○をつけてください。

1. 取得日数や取得率の年間目標（月間目標）の設定
2. 休暇取得予定を従業員間で共有
3. 担当者が休んでもフォローできる体制の整備
4. 誕生日休暇など誰もが取得できる休暇制度の導入
5. 半日、時間単位での取得の制度化
6. 連続休暇の取得促進
7. 計画的付与制度の導入
8. 管理職が率先して休暇を取得
9. その他（

問 20-2は、問 20 で「2」と回答した事業所がお答えください。

問 20-2. 残業時間（所定外労働時間）の削減のために具体的にどのような取組を行っていますか。あてはまるものを すべて に○をつけてください。

1. ノー残業デー・ノー残業ウィークなどの設定
2. 労働時間の見える化（従業員間で共有）
3. 残業を行う際の手続きの厳格化
4. 振替休日の徹底
5. 残業が多い者との面談の実施
6. 朝礼、終礼などでの労働時間適正化に関する周知
7. 管理職が率先して退社
8. 取引先等との間の発注方法、スケジュール等の見直し
9. 時間外に仕事を代入れないよう会議などのルール化
10. 空調や照明のオフなど強制的に退社させる仕組みの導入
11. その他（

女性の活躍推進についておたずねします。

～女性の職業生活における活躍の推進に関する法律～

平成28年4月から、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するために、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(以下「女性活躍推進法」という。)が施行されています。

女性活躍推進法に基づき、常時雇用する労働者が301人以上の事業主は、次の①～④の取組みが義務付けられており、300人以下の事業主については、努力義務となっています。
令和元年6月には、101人以上の事業主に義務付けを拡大する改正法が公布されました。
(改正法の施行期日は、公布後3年以内の政令で定める日。現時点では施行期日は未定)

- ① 自社の女性の活躍に関する状況把握・課題分析
- ② 状況把握・課題分析を踏まえた行動計画の策定・社内周知・公表
- ③ 行動計画を策定した旨の都道府県労働局への届出
- ④ 女性の活躍に関する情報の公表

問 21. 貴事業所では、女性活躍推進法に基づく行動計画を策定していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 策定している } 問 2 2 へ
- 2. 今後策定予定である
- 3. 今後も策定の予定はない } 問 2 1 ー 1 へ
- 4. 今後は未定

問 21-1-1は、問 21 で「3」または「4」と回答した事業所がお答えください。

問 21-1. 貴事業所が行動計画を今後も策定する予定はない、または未定の理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 女性従業員が少ない (いない)
- 2. 女性活躍の推進に取り組む意向がない
- 3. 策定や届出に手間がかかる
- 4. 費用面での負担がある
- 5. 策定するノウハウが不足している
- 6. 策定するメリットを感じない
- 7. 既に独自の女性活躍に係る取組方針がある
- 8. 策定しなくても取組はできる
- 9. 法的に義務付けられていない
- 10. その他 ()

問 22. 貴事業所では、行動計画の策定の有無とは関係なく、女性活躍推進への取組みを進めていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 進めている → 問 2 2 ー 1 ～ 4 へ
- 2. 進めていない → 問 2 3 へ

問 22-1 は、問 22 で「1」と回答した事業所がお答えください。

問 22-1. 女性活躍推進への取組みを進めている理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 優秀な人材の確保・定着
- 2. 労働力確保
- 3. 女性の意欲を向上させる
- 4. 国や自治体が推進している
- 5. 企業のイメージアップ
- 6. 女性の視点を生かした商品開発やサービス
- 7. 社会的責任・要請への対応
- 8. ダイバーシティ推進
- 9. その他 ()

問 22-2 は、問 22 で「1」と回答した事業所がお答えください。

問 22-2. 貴事業所で取り組んでいる、女性活躍推進のための具体的な取組みは何ですか。あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

取組み	取 り 組 む 組 ん	予 定 取 組 む	定 後 お 取 り 組 む 予 定
ア. 性別に関係なく、能力主義による人事管理方針 (性別にとらわれない人事管理制度、評価制度の導入)	1	2	3
イ. 女性正社員の採用拡大	1	2	3
ウ. 女性管理職の登用目標の設定	1	2	3
エ. 女性がいや・少ない部署や業務に、積極的に女性を配置	1	2	3
オ. 男女共同参画に関する研修を行うなど、従業員への意識啓発	1	2	3
カ. 管理職に対し、女性活用の重要性についての研修などによる意識啓発	1	2	3
キ. ロールモデルの育成・提示	1	2	3
ク. メンター制度の導入	1	2	3
ケ. 女性のキャリア形成のための研修等の実施、研修機会の付与	1	2	3
コ. 社内プロジェクト等への女性の参画	1	2	3
サ. 女性間のネットワークづくり	1	2	3
シ. 社内推進体制の整備 (担当者の設置など)	1	2	3
ス. その他 ()	1	2	3

問 22-2-3は、問 22-2で「1」と回答した事業所がお答えください。
 問 22-3は、貴事業所で進めている、女性活躍推進のための具体的な環境整備として、あてはまるもの
 それぞれ1つずつ○をつけてください。

	取 組 んで い る	今 後 取 組 ま す	取 組 み 予 定 な し	取 ら ず 、 組 ん で 今 後 も お し や ま す
ア. 出産・育児をサポートする福利厚生制度の充実	1	2	3	3
イ. 女性用のトイレ・更衣室などの設備の充実	1	2	3	3
ウ. 事業所内保育施設の設置	1	2	3	3
エ. 体方面での個人差を補う器具や設備を設置	1	2	3	3
オ. その他 ()	1	2	3	3

問 22-4は、問 22で「1」と回答した事業所がお答えください。
 問 22-4. 取組を実施し、どのような効果がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてくださ
 い。

1. 優秀な人材を採用できるようになった
2. 女性の就業継続率が向上した
3. 女性の労働意欲が向上した
4. 男性に対して刺激となり良い影響を与えた
5. 組織風土が誰もが働きやすい形に変わった
6. 企業イメージが良くなった
7. 売上の向上や競争力の強化につながった
8. 効率的な業務改善や生産性向上につながった
9. 特 に 目 立 っ た 効 果 は な っ た
10. その他 ()

貴事業所における具体的な事例を、ぜひお聞かせください。

問 23. 貴事業所において女性の活躍を進める上での課題は何だと感じますか。あてはまるものすべてに
 ○をつけてください。

1. 女性を採用しにくくも応募が少ない
2. 人材育成しても早期退職する女性が多い
3. 危険有害業務など法規制により、女性が従事できない業務がある
4. 法規制ではないが、女性が担当できる業務や部署に限られる
5. 時間外労働や深夜勤務をさせにくい
6. 女性が働き続けられる職場環境整備に費用がかかると感じる
7. 両立支援の人的なフォローアップ体制（代替など）を組む余裕がない
8. 経営者・管理職の理解や協力が得にくい
9. 女性同士での理解や協力が得にくい
10. 自社の課題把握や取組みを進める体制や人材が確保しにくい
11. 女性の昇任意欲を高めることが難しい
12. 女性の人材育成が進めにくい
13. その他 ()

問 24. 貴事業所における女性の管理職登用促進にあたって、重要なことは何だと思いますか。あてはま
 るものすべてに○をつけてください。

1. 優秀な女性人材の採用
2. 出産後も働き続けることができる環境の整備
3. 対外折衝や企画・立案などの多様な職務経験の付与
4. 女性のキャリア形成のための研修等の実施
5. 残業時間（所定外労働時間）の削減
6. ワーク・ライフ・バランスの推進
7. 業務効率化による労働生産性の向上
8. 管理職登用制度の見直し
9. 女性のロールモデルの育成・提示
10. 女性のモチベーション向上
11. 経営者・管理職の意識改革
12. 家族の理解、協力
13. その他 ()
14. 特になし

女性の管理職登用促進についてのお考え、貴事業所の取組について具体的ににお聞かせください。

福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査

正社員調査票

<調査ご協力のお願い>

福岡市では、「福岡市働く女性の活躍推進計画」を策定しており、基本目標のひとつに「働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します」を掲げ、様々な取組みを進めているところです。

このたび、次期計画（第2次）の策定に向けて、実態を踏まえた実効性の高い施策となるよう、市内事業所において働く方々の就業実態を把握するとともに、皆さまのご意見を聴きたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査の実施概要につきましては、福岡市ホームページに掲載するとともに、調査結果の公表については、同ホームページへの掲載を来年3月頃に予定しております。



福岡市
ホームページ

令和元年11月
福岡市
(市民局女性活躍推進課)

調査票は、記入後、あわせてお渡してあります返信用封筒（切手不要）に入れて、**11月30日（土）**までに郵便ポストに投函してください。

【記入にあたってのお願い】

- この調査票のご記入は、**正社員の方**にお願いいたします。
- 回答の記入は、各設問の指示に従って、**あてはまる項目の番号に○印もしくは所定の記入欄に数字**をご記入ください。質問文に「1つ」、「すべて」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、**矢印や案内**にそってお答えください。
- 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。
- 回答は、**令和元年10月1日現在**にてご記入ください。
- 調査票はすべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありませんので、**ありのまま**をご記入ください。

調査票の内容や記入方法などについてのお問い合わせ先
 【調査受託会社】株式会社サーベイサーチセンター 担当：藤・高根 とうみか
 TEL 092-411-8816(平日:9時~17時) FAX 092-411-8851

あなたの勤務先での状況についておたずねします。

問1. あなたが現在お勤めの事業所の業種はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| 1. 建設業 | 5. 卸売業、小売業 | 9. 医療、福祉 |
| 2. 製造業 | 6. 不動産業、物品賃貸業 | 10. サービス業 |
| 3. 情報通信業 | 7. 宿泊業、飲食サービス業 | 11. その他（ ） |
| 4. 運輸業、郵便業 | 8. 教育、学習支援業 | |

問2. あなたが現在お勤めの事業所の従業員は、非正規雇用労働者も含め全体でおよそ何人いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 20人以下 | 3. 101人以上 |
| 2. 21~100人 | 4. わからない |

(注) 「非正規雇用労働者」とは、パートタイム労働者及び有期雇用労働者をいいます。「パートタイム」「アルバイト」「嘱託」「契約社員」「準社員」等名称の如何を問いません(派遣労働者は含みません)。

問3. あなたの職務上の地位はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------------------|
| 1. 役員 | 4. 係長相当職 |
| 2. 部長相当職 | 5. 主任・リーダークラス |
| 3. 課長相当職 | 6. 一般社員 (役職についていない) |
- ⇒ 問4へ
- ⇒ 問3-1へ

(注) どの区分にあてはまるかは、勤務先の実態により次の例示を参照のうえ適宜判断してください。

- 部長相当職 : 部長、部次長、支店長、支隊長、ゼネラルマネージャー など
 課長相当職 : 課長、課長代理、課長補佐、マネージャー など

問3-1は、問3で「4」~「6」と回答した方がお答えください。

問3-1. あなたの勤務先での職種は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 専門・技術職 (看護師、介護士、保育士、教員、SE、技術者等) |
| 2. 事務職 (受付、秘書、一般事務員、経理事務員、医療事務員、OA機器のオペレータ等) |
| 3. 販売・営業職 (レジ、販売店員、外交販売員、保険外交員等) |
| 4. サービス職 (ホールスタッフ、調理人、理・美容師、タクシー運転手等) |
| 5. 技能・労務職 (作業員、製造・組立工、縫製工、包装工、トレース、清掃員等) |
| 6. 運輸・通信・保安職 (トラック運転手、電話オペレータ、警備員等) |
| 7. その他 () |

問4. あなたが現在の会社（事業所）で働き始めてからどのくらいになりますか。あてはまるもの1,2に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 1年未満 | 3. 5～10年未満 | 5. 20年以上 |
| 2. 1～5年未満 | 4. 10～20年未満 | |

問5. 学校卒業後のあなたの職業経歴に最も近いものは次のどれですか。あてはまるもの1,2に○をつけてください。

※転職や結婚等による仕事の中断期間（休職を含まない）が1年未満であれば「2」を選んでください。

- | |
|---|
| 1. ずっと今の会社で働いている |
| 2. 転職したが、ずっと働いている |
| 3. 結婚の前後に仕事を辞め、1年以上たってまた働き始めた |
| 4. 出産・育児の前後に仕事を辞め、1年以上たってまた働き始めた |
| 5. 介護の前後に仕事を辞め、1年以上たってまた働き始めた |
| 6. (自分または配偶者の) 転勤の前後に仕事を辞め、1年以上たってまた働き始めた |
| 7. 健康上・自己啓発などの理由で仕事を辞め、1年以上たってまた働き始めた |
| 8. その他 () |

あなたが働いている理由などについておたずねします。

問6. あなたが働いている理由は何か。あてはまるもの1,2に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 生活のための収入を得る | 6. 自分のスキルや能力の活用 |
| 2. 娯楽等自由に使える収入を得る | 7. 生きがい・社会とのつながり |
| 3. 自分自身の成長 | 8. 余暇時間の活用 |
| 4. 社会、人の役に立ちたい | 9. その他 () |
| 5. 仕事が好き | |

問7. あなたは現在の仕事について、どのように感じていますか。あてはまるもの1,2に○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 自身のアイデアや企画の提案ができる | 7. 自らの成長を実感できる |
| 2. 責任を与えられ、自らの裁量で仕事ができる | 8. 仕事を通じてスキルを高めることができる |
| 3. 自身の能力を発揮することができる | 9. 仕事を通じて幅広い経験ができる |
| 4. お客様や取引先から感謝される | 10. その他 () |
| 5. 社会や人の役に立っていると感じる | 11. 特になし |
| 6. 達成感がある | |

問8. あなたは現在の職場での働きやすさや評価などについて、どのように感じていますか。あてはまるもの1,2に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 仕事に見合った収入が得られる | 7. 家庭や個人の事情などに職場の理解がある |
| 2. 会社から適切な評価を受けている | 8. 時間の融通がつきやすい |
| 3. 上司や同僚からの期待を感じる | 9. 職場の就業環境が良い(施設・設備等) |
| 4. 会社やチームに貢献できている | 10. その他 () |
| 5. 良い経営者や上司と働くことができる | 11. 特になし |
| 6. 良い同僚や部下と働くことができる | |

昇進についておたずねします。

問9. 最近3年間にあなたの職務上の地位はわかりましたか。あてはまるもの1,2に○をつけてください。

※ 勤続年数3年未満の人も勤続年数内でお答えください。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 上がった | 2. 下がった | 3. かわらない |
|---------|---------|----------|

問10. あなたは今後昇進したいと思いますか。あてはまるもの1,2に○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 昇進したい | 3. どちらかというと昇進したくない |
| 2. どちらかというと昇進したい | 4. 昇進したくない |
- ⇒ 問10-1、問10-2へ

問10-1は、問10で「1」または「2」と回答した方がお答えください。

問10-1. あなたご自身はこれから先、どの役職まで目指したいと考えていますか。あなたが目指したい最も高い役職1,2に○をつけてください。

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 社長、役員 | 4. 係長相当職 |
| 2. 部長相当職 | 5. 主任・リーダークラス |
| 3. 課長相当職 | 6. わからず、決めていない |

問10-2は、問10で「1」または「2」と回答した方がお答えください。

問10-2. あなたが昇進したいと思う理由は何ですか。あてはまるものを3つまで並び順をつけてください。

1. 自分自身が成長できる 2. マネジメントに興味ややりがいを感じる 3. より大きな責任・権限のある仕事をしたい 4. 自分のペースで仕事ができ、時間がコントロールしやすくなる 5. 自身の知識や経験で組織に貢献したい 6. 自分の力を試してみたい 7. 実現したい仕事や目標がある 8. 年齢や経験相応の役職を目指すのは当然 9. より高い社会的な地位が得られる 10. より高い収入が得られる 11. 目標となる上司や先輩がいる 12. 上司からの勧め 13. その他 () 14. 特に理由はない

問10-3は、問10で「3」または「4」と回答した方がお答えください。

問10-3. あなたが昇進したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものを3つまで並び順をつけてください。

1. 現場での仕事や専門性が高い仕事を続けたい 2. 能力や経験が不足している 3. 管理職は向いていない 4. 現在の地位で十分 5. 報酬が職責に見合わない 6. 責任が重くなる 7. 時間的拘束が増える（残業増や休みの取りにくさ等） 8. 家庭やプライベートとの両立が難しくなる 9. 健康面、体調面で不安がある 10. ロールモデルとなるような同僚の管理職がいらない 11. 自分の雇用管理区分（例：一般職等）や定年要件で昇進可能性がない 12. その他 () 13. 特に理由はない

問11. あなたの会社では次にあげる項目について、男女の取扱いが均等になってきていると思いますか。ア～エの項目ごとに、それぞれあてはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

※雇用管理区分（総合職、一般職など）が同じ男女を比較してお答えください。

	均等である	どちらかである	どちらかはない	均等でない	比較しない
ア. 仕事の内容・分担	1	2	3	4	5
イ. 配置・人事異動	1	2	3	4	5
ウ. 教育訓練及び研修の機会	1	2	3	4	5
エ. 昇進・昇格	1	2	3	4	5
オ. 給与・賞与	1	2	3	4	5

ワーク・ライフ・バランスについておたずねします。

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と家庭生活、地域生活、地域生活、自己啓発など様々な活動について、自ら希望するバランスで生活できることをいいます。

問12. あなたのひと月あたりの平均的な残業時間は、どのくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 残業なし	4. 20時間超45時間以下
2. 10時間以下	5. 45時間超60時間以下
3. 10時間超20時間以下	6. 60時間超

(注) みなし労働時間制を適用されている方は、所定労働時間（例：40時間）を超えて実際に労働に従事した時間を回答してください。

問13. あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」のうち優先度はどのようになっていますか。(1) 希望 (2) 現実のそれぞれについて、最も近いものを1つ選んでください。

(1) あなたの希望に最も近いもの

1. 「仕事」を優先したい 2. 「家庭生活」を優先したい 3. 「地域・個人の生活」を優先したい 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい 7. いずれも優先したい 8. わからない
--

問 16. 女性が職業を持つことについてどのような考えですか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. ずっと職業を持っている方がよい
2. 結婚するまでは職業を持ち、あとは持たない方がよい
3. 子どもができるまで職業を持ち、あとは持たない方がよい
4. 子どもができたなら職業を中断し、子どもに手がつかなくなると再び持つ方がよい
5. 職業を持たない方がよい
6. その他 ()

問 17. 働き方と家事・育児・介護の男女の役割分担について、あなたはどのように思いますか。次のア～カの項目ごとに、それぞれあてはまるものを1つ選び番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといへばそう思う	どちらかといへばそう思う	どちらかといへばそう思う	そう思わない
ア. 家事 (育児は除く) は原則的に男女半々で担うのがよい	1	2	3	4	4
イ. 育児は女性がしたほうがよい	1	2	3	4	4
ウ. 男性も育児休業を取得したほうがよい	1	2	3	4	4
エ. 介護は女性がしたほうがよい	1	2	3	4	4
オ. 男性も介護休業を取得したほうがよい	1	2	3	4	4
カ. 家計は原則的に男女半々で担うのがよい	1	2	3	4	4

(2) あなたの現実 (現状) に最も近いもの

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. いずれも優先している
8. わからない

問14. 最近3年程度で、あなたの職場は、残業が減るなど働きやすさについての変化はありましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 以前より働きやすくなった
2. 変わらないが、もともと働きやすい
3. 変わらず、働きにくい
4. 以前より働きにくくなった

問 15. ワーク・ライフ・バランスを推進するために会社ごとのような取組みを望みますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経営者や管理職の意識改革
2. 職場風土の改革
3. 仕事や人の合理的な配分が可能な柔軟な組織づくり
4. 複数の仕事をこなせる人材の育成
5. 年次有給休暇取得の促進
6. 多様な休暇制度や短時間勤務制度の導入
7. 残業時間 (所定外労働時間) の縮減
8. 在宅勤務 (テレワークなど) の導入
9. 従業員の働き方に関するニーズの把握
10. 仕事の進め方や内容の見直し
11. ICT (情報通信技術) やRPA (注)、AI (人工知能) を活用した業務の効率化
12. 労働時間の長さではなく、仕事の成果の適正評価
13. ワーク・ライフ・バランス支援に関する情報の提供
14. その他 ()
15. 特になし

(注) RPA : 定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの

育児・介護休業制度についておたずねします。

問 18. あなたは、勤務先において、対象であれば育児休業制度を利用できることを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
 ※育児休業は、育児・介護休業法に基づいて男女とも取得できる休業であり、会社の就業規則に規定されていない場合でも、請求により利用できます。なお、支那一籍にすることや期間の途中に未婚で交代してとることができます。

1. 会社の就業規則上利用できることを知っていた
2. 会社に制度はないが、法律に基づき利用できることを知っていた
3. 会社に制度があるかどうか知らないが、法律に基づき利用できることを知っていた
4. 会社に制度があるかどうか知らず、法律に基づき利用できることも知らなかった

問 19. あなたは、育児が必要になった場合に、育児休業制度を利用したことがありますか。あるいは、その立場になったと仮定したとき、あなたは利用しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 利用したことがある
2. 利用する
3. 利用を検討する
4. 利用しない
5. わからない

問19-1は、問19で「4」または「5」と回答した方がお答えください。

問 19-1. あなたが育児休業制度を利用しない、またはわからないのはどのような理由からですか。主な理由を3つまで選び○をつけてください。

1. 自分以外に子どもをみてくれる家族がいる
2. 収入が減る
3. 仕事を離れると昇進・昇格に影響する
4. 元の職場に戻れるとは限らない
5. 仕事を続けたい
6. 仕事を離れると自分の能力が落ちる
7. 育児休業を取れるような雰囲気ではない
8. 職場に迷惑がかかる
9. 職場に同性で利用した人がいない (少ない)
10. 職場に規定された制度がなく利用しづらい
11. 退職する予定
12. その他 ()

問 20. あなたが育児をしながら働くことと仮定した場合、会社などのようなサポート制度があればよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 短時間勤務制度
2. フレックスタイム制度
3. 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ
4. 残業 (所定外労働) の免除
5. 企業内託児施設の設置
6. 病児のための看護休暇制度
7. 在宅勤務 (テレワーク) 制度
8. 会社が契約する保育サービス制度
9. 保育料・託児料の補助や融資などの金銭的支援制度
10. その他 ()

(注) 1. 短時間勤務制度：通常の所定労働時間より短い所定労働時間を設定すること
 2. フレックスタイム制度：1か月以内の一定の期間の総労働時間を定めておき、労働者がある範囲内で各日の始業及び終業の時刻を自由に選択して働くこと
 3. 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ：1日の所定労働時間を変更することなく、始業又は終業の時刻を繰上げ又は繰下げて働くこと

問 21. あなたは、ご家族に介護が必要となった際に、介護休業制度を利用したことがありますか。あるいは、その立場になったと仮定したとき、あなたは利用しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
 ※介護休業は、育児・介護休業法に基づいて取得できる休業であり、請求により利用できます。

1. 利用したことがある
2. 利用する
3. 利用を検討する
4. 利用しない
5. わからない

問21-1は、問21で「4」または「5」と回答した方がお答えください。

問 21-1. あなたが介護休業制度を利用しない、またはわからないのはどのような理由からですか。主な理由を3つまで選び○をつけてください。

1. 自分以外に介護を担ってくれる家族がいる
2. 介護サービスの利用、施設への入所などを予定
3. 収入が減る
4. 仕事を離れると昇進・昇格に影響する
5. 元の職場に戻れるとは限らない
6. 仕事を続けたい
7. 仕事を離れると自分の能力が落ちる
8. 介護休業を取れるような雰囲気ではない
9. 職場に迷惑がかかる
10. 職場に利用した人がいない (少ない)
11. 職場に規定された制度がなく利用しづらい
12. 退職する予定
13. その他 ()

セクシュアル・ハラスメントについておたずねします。

問 24. 最近3年間に、職場でセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(注) セクシュアル・ハラスメントとは：職場における相手の意に反する性的言動。従業員の就業環境を害したり、対応次第で従業員が労働条件で不利益を受けたりするものをいいます。

1. 男性が被害を受けているのを見聞きしたことがある	}	選択した場合は 問 24-1 へ
2. 女性が被害を受けているのを見聞きしたことがある		→ 選択した場合は 問 24-2 へ
3. 自分が被害を受けたことがある		→ 問 25 へ
4. ない		

問24-1は、問24で「1」または「2」と回答した方がお答えください。

問 24-1. その時あなただけのように対応しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 加害者に注意した	
2. 被害者の相談にのった	
3. 会社の上司、相談窓口にご相談した	
4. 労働組合に相談した	
5. 会社以外の相談機関（行政機関、カウンセラー、弁護士など）にご相談した	
6. その他（	
7. 何もしなかった	

問24-2は、問24で「3」と回答した方がお答えください。

問 24-2. その時あなただけのように対応しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相手に抗議した	
2. 相手にやめるよう頼んだ	
3. 会社の上司、相談窓口にご相談した	
4. 同僚にご相談した	
5. 労働組合にご相談した	
6. 会社以外の相談機関（行政機関、カウンセラー、弁護士など）にご相談した	
7. 家族または友人・知人に相談した	
8. 無視または我慢した	
9. その他（	

問 22. あなたの職場で男性従業員が育児休業または介護休業を取得することになった場合、あなたはどのように思っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 職場を気にせず育児（介護）休業を取得してほしい	
2. 他の男性従業員も育児（介護）休業を取得しやすくなる	
3. 仕事と家庭の両立ができる職場づくりが進む	
4. 配偶者に休んでもらえればよい	
5. 残された社員の負担が増えるので困る	
6. 休むくらいなら退職してくれればよい	
7. その他（	

問 23. あなたの職場で女性従業員が育児休業または介護休業を取得することになった場合、あなたはどのように思っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 職場を気にせず育児（介護）休業を取得してほしい	
2. 他の女性従業員も育児（介護）休業を取得しやすくなる	
3. 仕事と家庭の両立ができる職場づくりが進む	
4. 配偶者に休んでもらえればよい	
5. 残された社員の負担が増えるので困る	
6. 休むくらいなら退職してくれればよい	
7. その他（	

女性の活躍推進についておたずねします。

問 25. あなたの会社では女性活躍推進への取組みが進んでいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 進んでいる | } 問 25-1 へ |
| 2. ある程度進んでいる | |
| 3. あまり進んでいない | } 問 25-2 へ |
| 4. 進んでいない | |

問25-1は、問25で「1」または「2」と回答した方がお答えください。

問 25-1. あなたの会社で女性活躍推進への取組みが進んでいると感じる理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 両立支援制度（育児休業・育児短時間勤務など）が充実している
2. 女性の早期退職が少ない
3. 女性の業務範囲が広がっている
4. 男女均等の意識が浸透している
5. 女性の経営層・管理職が多い
6. 管理職ではないが、周りで活躍する女性が多い
7. 女性のキャリア意識が高い
8. その他（ ）

問25-2は、問25で「3」または「4」と回答した方がお答えください。

問 25-2. あなたの会社で女性活躍推進への取組みが進んでいないと感じる理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 両立支援制度（育児休業・育児短時間勤務など）が不十分である
2. 両立支援制度（育児休業・育児短時間勤務など）があっても利用しにくい（できない）
3. 女性の早期退職が多い
4. 女性の業務範囲が限定的である
5. 男性優位の考え方が変わっていない
6. 男性に比べキャリアの形成が進まない
7. 女性の経営層・管理職が少ない（いない）
8. 女性の採用が少ない（ない）
9. 女性のキャリア意識が高くない
10. その他（ ）

問 26. あなたの会社における女性の管理職登用促進にあたって、重要なことは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 優秀な女性人材の採用
2. 出産後も働き続けることができる環境の整備
3. 対外折衝や企画・立案などの多様な職務経験の付与
4. 女性のキャリア形成のための研修等の実施
5. 残業時間（所定外労働時間）の削減
6. ワーク・ライフ・バランスの推進
7. 業務効率化による労働生産性の向上
8. 管理職登用制度の見直し
9. 女性のロールモデルの育成・提示
10. 女性のモチベーション向上
11. 経営者・管理職の意識改革
12. 家族の理解、協力
13. その他（ ）
14. 特になし

行政への要望などについておたずねします。

問 27. あなたは今後一層、男女が共に職場で活躍し、仕事と家庭を両立していくために、行政にどのようなことを望みますか。特に希望するものを3つまで選び○をつけてください。

1. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる優良企業の表彰、紹介
2. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる企業の人札等での優遇
3. 企業を対象とした出前型無料セミナーの実施
4. リーダーや管理職を目指す女性の能力開発や意識向上のための研修の実施
5. 企業を対象とした女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に関する講座・研修会の実施
6. ホームページ、SNSなどによる女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に係る情報提供
7. 男性の家事・育児・介護等への参加を促す啓発
8. 再就職を希望する女性と企業のマッチング等の支援
9. 育児・介護休業者に対する円滑な職場復帰のための講習会等の実施
10. 育児・介護休業者の代替要員確保のための人材の紹介や派遣
11. 保育所、学童保育（放課後対策）などの子育て支援の充実
12. 介護施設、地域包括ケアシステムなどの社会的な高齢者対策の充実
13. その他（ ）

問 28. 職場における女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスに関して、日頃感じていることやご提案など自由にご記入ください。

----- 最後に、あなたご自身についておたずねします -----

F1. あなたの性別について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 女性	2. 男性
-------	-------

※戸籍上の性別についてお答えください。回答したくない方は、次へお進みください。

F2. あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 24歳以下	4. 35～39歳	7. 60歳以上
2. 25～29歳	5. 40～49歳	
3. 30～34歳	6. 50～59歳	

F3. あなたの最終学歴（卒業した学校）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 中学校	3. 専修学校	5. 大学
2. 高等学校	4. 短期大学・高専	6. 大学院

F4. あなたは現在結婚していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 未婚	2. 既婚	3. 離婚・死別
-------	-------	----------

F4-1は、F4で「2」と回答した方がお答えください。

F4-1. 配偶者の現在の職業について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 個人事業主・家族従業員	4. 非正規雇用労働者（契約社員、嘱託含む）・派遣労働者
2. 会社経営者・役員	5. 仕事はしていない
3. 正社員	

次ページで終わります

F5. お子さんの人数について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 0人	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
-------	-------	-------	---------

F5-1は、F5で「2」～「4」と回答した方がお答えください。

F5-1. 末子について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 3歳未満	3. 小学生	5. 高校生以上（16歳以上）
2. 3歳～就学前	4. 中学生	

F6. 現在同居しているあなたの家族について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 同居者はいない	4. (義) 父母	7. その他 ()
2. 配偶者、パートナー	5. (義) 祖父母	
3. 子ども	6. (義) 姉妹兄弟	

これですべての質問が終わりしました。もう一度記入もれや記入誤りがないかお確かめの上、返信用封筒にて11月30日(土)までに郵便ポストへの投函をお願いします。調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査

非正規雇用労働者調査票

<調査ご協力のお願い>

福岡市では、「福岡市働く女性の活躍推進計画」を策定しており、基本目標のひとつに「働く場において男女が対等に参画し、女性が活躍できる社会を目指します」を掲げ、様々な取組みを進めているところです。

このたび、次期計画（第2次）の策定に向けて、実態を踏まえた実効性の高い施策となるよう、市内事業所において働く方々の就業実態を把握するとともに、皆さまのご意見をお聞きしたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査の実施概要につきましては、福岡市ホームページに掲載するとともに、調査結果の公表については、同ホームページへの掲載を来年3月頃に予定しております。



福岡市
ホームページ

令和元年 11 月

福岡市
（市民局女性活躍推進課）

調査票は、記入後、あわせてお渡ししております返信用封筒（切手不要）に入れて、**11月30日（土）**までに郵便ポストに投函してください。

【記入にあたってのお願い】

1. この調査票のご記入は、非正規雇用労働者の方をお願いいたします。

※この調査における「非正規雇用労働者」とは、パートタイム労働者及び有期雇用労働者をいいます。「パートタイマー」「アルバイト」「嘱託」「契約社員」「準社員」等名称の如くを問いません（派遣労働者は含みません）。

2. 回答の記入は、各設問の指示に従って、あてはまる項目の番号に○印もしくは所定の記入欄に数字をご記入ください。質問文に「1つ」「すべて」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。

3. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。

4. 「その他」を選択されたときは、お手数ですがその内容を（ ）内に具体的に記入してください。

5. 回答は、令和元年10月1日現在にてご記入ください。

6. 調査票はすべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありませんので、ありのままをご記入ください。

調査票の内容や記入方法などについてのお問い合わせ先

【調査受付会社】 株式会社サーベイリサーチセンター 担当：藤・高根

TEL 092-411-8816(平日:9時~17時) FAX 092-411-8851

あなたの勤務先での状況についておたずねします。

問1. あなたが現在お勤めの事業所の業種はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| 1. 建設業 | 5. 卸売業、小売業 | 9. 医療、福祉 |
| 2. 製造業 | 6. 不動産業、物品賃貸業 | 10. サービス業 |
| 3. 情報通信業 | 7. 宿泊業、飲食サービス業 | 11. その他（ ） |
| 4. 運輸業、郵便業 | 8. 教育、学習支援業 | |

問2. あなたが現在お勤めの事業所の従業員は、非正規雇用労働者も含め全体でおおよそ何人いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 20人以下 | 3. 101人以上 |
| 2. 21~100人 | 4. わからない |

(注) 非正規雇用労働者については、表紙の「記入にあたってのお願い」の1をご確認ください。

問3. あなたの勤務先での職種は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 専門・技術職（看護師、介護士、保育士、教員、SE、技術者等） |
| 2. 事務職（受付、秘書、一般事務員、経理事務員、医療事務員、OA機器のオペレータ等） |
| 3. 販売・営業職（レジ、販売店員、外交販売員、保険外交員等） |
| 4. サービス職（ホールのスタッフ、調理人、理・美容師、タクシー運転手等） |
| 5. 技能・労務職（作業員、製造・組立工、縫製工、包装工、トレース、清掃員等） |
| 6. 運輸・通信・保安職（トラック運転手、電話オペレータ、警備員等） |
| 7. その他（ ） |

問4. あなたの勤務先での業務は次のどれにあたりますか。あてはまる主本ものを2つまで選び○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 基幹的な重要度の高い業務 |
| 2. 正社員の補助的業務 |
| 3. 管理的業務 |
| 4. 比較的短期間で慣れることができる業務 |
| 5. 一定の経験年数が必要な業務 |
| 6. 正社員の定着が困難な業務 |
| 7. 経験や技術の評価された専門的または特殊な業務 |

問5. あなたが現在の会社（事業所）で働き始めてからどのくらいになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 6ヶ月未満 | 3. 1～5年未満 | 5. 10～20年未満 |
| 2. 6ヶ月～1年未満 | 4. 5～10年未満 | 6. 20年以上 |

問6. あなたの1週間の平均的な合計労働時間は、残業時間を含めてどのくらいになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 20時間未満 | 3. 35～40時間未満 | 5. 40超～50時間未満 |
| 2. 20～35時間未満 | 4. 40時間 | 6. 50時間以上 |

問7. 現在の会社（事業所）に雇用されたとき、雇用契約期間は定められていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 期間が定められている | 3. わからない |
| 2. 期間が定められていない | 4. その他（ ） |

問8. あなたは、現在の会社（事業所）での直近の契約（新規または更新）のとき、どのような方法で雇用契約を結びましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|------------------|
| 1. 雇入通知書などの文書による |
| 2. 口頭による |
| 3. その他（ ） |

あなたが働いている理由などについておたずねします。

問9. あなたが働いている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 生活のための収入を得る | 6. 自分のスキルや能力の活用 |
| 2. 娯楽等自由に使える収入を得る | 7. 生きがい・社会とのつながり |
| 3. 自分自身の成長 | 8. 余暇時間の活用 |
| 4. 社会、人の役に立ちたい | 9. その他（ ） |
| 5. 仕事が好き | |

問10. あなたは現在の仕事について、どのように感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 自身のアイデアや企画の提案ができる | 7. 自らの成長を実感できる |
| 2. 責任を与えられ、自らの裁量で仕事ができる | 8. 仕事を通じてスキルを高めることができる |
| 3. 自身の能力を発揮することができる | 9. 仕事を通じて幅広い経験ができる |
| 4. お客様や取引先から感謝される | 10. その他（ ） |
| 5. 社会や人の役に立っていると感じる | 11. 特にない |
| 6. 達成感がある | |

問11. あなたは現在の職場での働きやすさや評価などについて、どのように感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 仕事に見合った収入が得られる | 7. 家庭や個人の事情などに職場の理解がある |
| 2. 会社から適切な評価を受けている | 8. 時間の融通がつきやすい |
| 3. 上司や周りからの期待を感じる | 9. 職場の就業環境が良い（施設・設備等） |
| 4. 会社やチームに貢献できている | 10. その他（ ） |
| 5. 良い経営者や上司と働くことができる | 11. 特にない |
| 6. 良い同僚や部下と働くことができる | |

問12. あなたが現在の会社（事業所）で働くにあたって、非正規雇用という働き方を選んだ理由は何か。

1番目から3番目までの理由順に、あてはまるものの番号を記入してください。なお、該当するものが3つに達しない場合は、3番目まで回答する必要はありません。

- | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--|-----------|
| 1. 勤務時間・日数（自由度、短さ、残業のなさなど） | 2. 勤務場所（自宅からの近さ、通勤のしやすさなど） | 3. 仕事内容（希望の内容、資格を活かした専門性、容易さなど） | 4. 負担感（正社員のような責任や人事異動などの負担の少なさ） | 5. 就業調整（扶養・税制面での年収や労働時間の調整が可能） | 6. 正社員観念（正社員職が見つからない、正社員として就職するまでのつなぎなど） | 7. その他（ ） |
| 1番目の理由 | 2番目の理由 | 3番目の理由 | | | | |

問 14. 今後は、どのような働き方を希望しますか、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 正社員	→ 問 14-1 へ } 問 15 へ
2. 非正規雇用労働者 (契約社員、嘱託含む)	
3. 派遣労働者	
4. 個人事業主、フリーランス	
5. 仕事は持ちたくない	
6. その他 ()	

問 14-1 は、問 14 で「1」と回答した方がお答えください。

問 14-1. 正社員を希望する理由は何ですか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 定年まで働ける	6. 能力開発のための研修が充実している
2. 非正規と比較し賃金が高い	7. 自身の能力を発揮することができる
3. 昇給、賞与、退職金がある	8. 責任を与えられ、自己の裁量で仕事ができる
4. 昇進がある	9. 仕事を通じて自身が成長できる
5. 福利厚生が充実している	10. その他 ()

問 15. あなたの現在の1時間当たりの賃金は、次のどれに該当しますか、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 800円台	4. 1,100円台	7. 1,400円台
2. 900円台	5. 1,200円台	8. 1,500円台以上
3. 1,000円台	6. 1,300円台	

問 16. あなたは仕事内容が同様であると思う正社員と比べて、賃金が低いと意識したことがありますか、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 低いと意識したことはあるが納得できる
2. 低いと意識したことがあり納得できない
3. 低いと意識したことはない
4. 仕事内容が同様の正社員がいらない(わからない場合を含む)

問 17. あなたご自身の昨年(平成30年)の年収はどのくらいでしたか、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 50万円未満	4. 130～150万円未満	7. 300～500万円未満
2. 50～100万円未満	5. 150～200万円未満	8. 500万円以上
3. 100～130万円未満	6. 200～300万円未満	

問 13. 現在の会社(事業所)での就労を除き、あなたの過去の就労経験は次のうちどれですか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 正社員	→ 選択した場合 問 13-1 へ } 問 14 へ
2. 非正規雇用労働者 (契約社員、嘱託含む)	
3. 派遣労働者	
4. 個人事業主、家族従業員	
5. 就労経験なし	
6. その他 ()	

問 13-1 は、問 13 で「1」と回答した方がお答えください。

問 13-1. 最後に正社員として勤めた事業所を退職した理由は、次のどれですか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 結婚のため	6. 配偶者の転勤のため
2. 職場に結婚・出産退職の慣行があったため	7. 自分の病気・けがなどのため
3. 出産、育児のため	8. 定年制のため
4. 家族介護のため	9. 解雇または会社都合による退職
5. 家庭との面立が困難になったため	10. 仕事内容に不満があったため
	11. 残業が多かったため
	12. 賃金など待遇に不満があったため
	13. 職場の人間関係のため
	14. その他 ()

⇒ 1～5に○をつけた方は
問 13-2 にも答えてください

問 13-2 は、問 13-1 で「1」～「5」と回答した方がお答えください。

問 13-2. 育児・介護休業をはじめとした働いたことながら継続して働くことができる環境が整っていれば、正社員としての勤務を継続しましたか、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 環境が整っていれば継続した
2. 環境が整っていないも退職した
3. わからない

勤務先や行政への要望などについておたずねします。

問 18. 最近3年程度で、あなたの職場は、残業が減るなど働きやすさについての変化はありましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 以前より働きやすくなった
- 2. 変わらないが、もともと働きやすい
- 3. 変わらず、働きにくい
- 4. 以前より働きにくくなった

問 19. 正社員と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差が禁止される「パートタイム労働者・有期雇用労働法」が令和2年4月に施行（中小企業における適用は令和3年4月）されますが、あなたはそのことをご存じですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 法律の内容まで知っている
- 2. 内容までは知らないが、施行されることは見聞きしたことはある
- 3. 知らない

問 20. あなたは、現在の勤務先にどのような制度や施設を望みますか。あてはまるものを3つまで選び○をつけてください。

- 1. 労働時間（日数）・時間帯（曜日）等を非正規雇用労働者の希望に合わせる
- 2. 賃金（時給単価等）を上げる
- 3. 賞与（ボーナス）を支給する
- 4. 退職金制度を導入・改善する
- 5. 休暇制度を改善する（例：年次有給休暇の時間単位取得、病欠（休暇）の新設など）
- 6. 雇用保険・社会保険の加入を図る
- 7. 教育訓練・研修を充実させる
- 8. 資格制度・能力給・人事評価制度を導入する
- 9. 非正規雇用労働者の希望や意見を聞く機会を設ける
- 10. 正社員への転換制度を設ける
- 11. 託児施設を設置する
- 12. 健康診断を非正規雇用労働者にも行う
- 13. 同一労働同一賃金を実施する（正社員と非正規雇用労働者との間の不合理な待遇差の解消）
- 14. その他（)

問 21. あなたは今後一層、男女が共に職場で活躍し、仕事と家庭を両立していくために、行政にどのようなことを望みますか。特に希望するものを3つまで選び○をつけてください。

- 1. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる優良企業の表彰、紹介
- 2. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる企業の入札等での優遇
- 3. 企業を対象とした出前型無料セミナーの実施
- 4. リーダーや管理職を目指す女性の能力開発や意識向上のための研修の実施
- 5. 企業を対象とした女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に関する講座・研修会の実施
- 6. ホームページ、SNSなどによる女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進に係る情報提供
- 7. 男性の家事・育児・介護等への参加を促す啓発
- 8. 再就職を希望する女性と企業のマッチング等の支援
- 9. 育児・介護休業者に対する円滑な職場復帰のための講習会等の実施
- 10. 育児・介護休業者の代替要員確保のための人材の紹介や派遣
- 11. 保育所、学童保育（放課後対策）などの子育て支援の充実
- 12. 介護施設、地域包括ケアシステムなどの社会的な高齢者対策の充実
- 13. その他（)

問 22. 職場における女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスに関して、日頃感じていることやご提案など自由に記入ください。

..... 最後に、あなたご自身についておたずねします

F 1. あなたの性別について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 女性
- 2. 男性

※戸籍上の性別についてお答えください。回答したくない方は、次へお進みください。

次ページで終わります

F 2. あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 24 歳以下	4. 35～39 歳	7. 60 歳以上
2. 25～29 歳	5. 40～49 歳	
3. 30～34 歳	6. 50～59 歳	

F 3. あなたの最終学歴（卒業した学校）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 中学校	3. 専修学校	5. 大学
2. 高等学校	4. 短期大学・高専	6. 大学院

F 4. あなたは現在結婚していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 未婚	2. 既婚	3. 離婚・死別
-------	-------	----------

F 4-1は、F 4で「2」と回答した方がお答えください。

F 4-1. 配偶者の現在の職業について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 個人事業主・家族従業員	4. 非正規雇用労働者（契約社員、嘱託含む）・派遣労働者
2. 会社経営者・役員	5. 仕事はしていない
3. 正社員	

F 5. お子さんの人数について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 0人	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
-------	-------	-------	---------

F 5-1は、F 5で「2」～「4」と回答した方がお答えください。

F 5-1. 末子について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 3 歳未満	3. 小学生	5. 高校生以上（16 歳以上）
2. 3 歳～就学前	4. 中学生	

F 6. 現在同居しているあるあなたの家族について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 同居者はいない	4. (義) 父母	7. その他 ()
2. 配偶者、パートナー	5. (義) 祖父母	
3. 子ども	6. (義) 姉妹兄弟	

これですべての質問が終わりまりました。もう一度記入もれや記入誤りがないかお確かめの後、返信用封筒にて 11 月 30 日（土）までに郵便ポストへの投函をお願いします。
調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

福岡市女性活躍推進に関する事業所等実態調査
報 告 書

令和元年度

発行：福岡市市民局女性活躍推進課
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1
TEL 092-711-4950
FAX 092-733-5785